

早池峰

令和7年7月24日(木) 第17号

1学期終業式 頑張った自分に拍手!

～有意義で楽しい夏休みに～

昨日の期末面談には、お忙しいところおいでいただきありがとうございました。おかげさまで、1学期のお子さんの成長や頑張り、そして2学期以降にもっと力を伸ばしたいことなどを保護者の皆様と共有することができました。

明日から26日間の夏休みが始まります。今日の3校時に行われた終業式では、校長から子どもたちに次のような話をしました。

まだ寒さが残る4月に始まった1学期、今年は6月から真夏のような暑さが続いています。学校の周りの木や花などの様子も大きく変わりました。それぐらい季節は大きく変わりました。

そして、みなさんも同じようにこの75日間、もちろんお休みの日を含めるともっとたくさんの毎日の中でたくさんのことを学び、そして身に付けてきました。

できなかったことができるようになったり、もともとできていたことがもっと上手にできるようになったり、とぐんぐん成長してきました。

ここで、30秒ほど時間を取りますので、この1学期の間に自分が成長できたことを1つでも多く見つけて、一つ二つ…というように指を折って数えてみましょう。他の人を見る必要はありませんので、目を瞑って数えてみましょう。

すぐ見つけられた人も、そうでなかった人もいると思いますが、校長先生から見ると、ここにいる附馬牛小学校の全校児童27名全員が、毎日いろんなことに挑戦し、勉強し、たくさんのことを身に付けて大きく成長したと思います。毎日の勉強だけでなく、運動会、5・6年の宿泊学習、1～4年生の遠足、洞口先生に来ていただいて歌の練習を頑張っている様子を遠野市内の先生方にも見ていただきましたね。4年生以上は委員会活動もありました。そう考えると、この1学期でみなさんができるようになったことや身に付けたことは、数えきれないぐらいたくさんあると思います。

そんな頑張った自分ってえらいなあ、と思ってください。がんばったね、とほめてくださいね。

明日からの夏休み、そして2学期からもぜひできることを増やしていきましょう。

そのために、明日から始まる夏休みについて、ぜひみなさんに頑張ってもらいたいことをお話します。

夏休み中は、いつものように学校で勉強はしないけど、苦手な教科の勉強にも取り組んで、苦手なものをなくすとか、反対に得意なことをもっと伸ばすこと、おうちの人と出かけて学校では体験できないようなことを体験するなど、というのが夏休みで大事なことです。ぜひ、力をもっと伸ばせるような夏休みにしましょう。

最後にもう一つ、これは絶対に約束してほしいことです。それは8月20日の始業式に27人全員が元気にまた登校してほしいということです。夏休みは交通事故や水の事故などが増え、残念ながら毎年命を落とす小学生が出ています。命はたった一つしかありません。生活のきまりを守り、事故や事件にあうことなく、健康で元気に夏休みを過ごしてください。これは、絶対に約束してください。

それでは、2学期の始業式に元気な皆さんとまた会えることを楽しみにしています。

上に書いているように、夏休みは、学校で授業はしませんが、普段できないようなことに挑戦したり、体験したりするということがとても大切です。また、規則正しく生活をしたり、計画的に学習に取り組んだり、体力づくりをしたり、というように自分の力で毎日の生活を積み重ねていくことで、主体的に生きていく力の素地を身に付けていくことにもつながります。

子どもたち一人一人にとって、夏休みが有意義なものとなり、もっと力を伸ばせるような日々となりますようぜひ保護者の皆様の応援とご協力をお願いします。また、例年全国的には夏休み中に水の事故や交通事故に遭う児童も多くなります。8月20日の始業式、27名全員が大きな事故なく元気に登校できることを切に願っております。地域の皆様も子どもたちの見守り、声かけなどをよろしく願いいたします。

保護者の皆様・地域の皆様には、1学期間さまざまな面でたくさんの応援・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。引き続き、夏休み中、そして2学期以降もどうぞよろしくお願いいたします。

